

日本工学院専門学校		開講年度		2019年度		科目名		ソルフェージュ4	
科目基礎情報									
開設学科	ミュージックアーティスト科			コース名	ヴォーカリストコース			開設期	後期
対象年次	2年次			科目区分	選択			時間数	30時間
単位数	1単位							授業形態	演習
教科書/教材	適宜、資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。								
担当教員情報									
担当教員	塩谷達也				実務経験の有無・職種	有・シンガー／ミュージシャン／ソングライター／プロデューサー			
学習目的									
ベーシックなボイストレーニングエクササイズの再確認をしながら、音程や音階の声による実践、習得に進み、リズムトレーニングやサイトシンギングの実践をし、シンガー／音楽家として必要な技術を習得すること。									
到達目標									
自分の歌声を自ら分析、考察、理解できるようになる。自分の声がどういった楽曲に向いているか、また歌いたい楽曲を歌うには自分の声をどのようにコントロールすればいいか、表情を付けるにあたってそれらをどうすればいいかを考えることで、実際の歌唱の場（ライブなど）で活かせるようにする。									
教育方法等									
授業概要	ストレッチ、カウントプレス、種々のリップロール、数字によるスケール訓練、ハミング、ハーモナイズ、フォニックスを使ったエクササイズ、クラップ／ストンプリズムエクササイズ、サイトシンギングなど。								
注意点	この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。学習したエクササイズを授業以外でもレギュラーベースで復習実践すること。卒業した後、プロのシンガーとして必ず役に立つことばかりを教え、覚えてもらおう授業になる。卒業後、財産となる授業内容であり、実践し体験し自分のものにしていくアクティブラーニング要素が強い授業内容。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。								
評価方法	種別	割合	備 考						
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する						
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する						
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する						
	成果発表 (口頭・実践)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する						
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する						
授業計画（1回～15回）									
回	授業内容				各回の到達目標				
1回	リズムトレーニングの実践アドバンス1				リズムパターンに合わせ体を動かし、歌えるようにする				
2回	曲に合わせてクラップ、ストンプ				一定のリズムを感じながらの実践				
3回	複雑なリズムで別々のパターンをクラップ、ストンプ				リズムが複雑になっても一定リズムを保って実践する				
4回	サイトシンギング視唱の実践アドバンス1				譜面を見ながらの歌唱実践				
5回	リズム譜を読む				リズム譜を追うコツを覚える				
6回	譜面を視唱する				視唱に慣れていく 及びその方法、訓練法を習得する				
7回	様々なコード進行を聴きながらアドリブでメロディを歌う				アドリブを実践出来るようにする。				
8回	ベーシックなボイストレーニングエクササイズの再確認2				発声法を意識した歌唱実践				
9回	12345678を使ったスケール音程トレーニング				スケールを正しい音程で歌えるようにする				
10回	音程や音階の声による実践アドバンス3				正しい音程で歌えるようにする				
11回	リズム譜制作				リズムパターンを制作し、歌えるようにする。				
12回	シンガーとしてのわきまえ				プロのシンガーについての理解。				
13回	総合的なパフォーマンスの実践アドバンス1				各自ワンコーラスずつ歌って確認				
14回	総合的なパフォーマンスの実践アドバンス2				動画を見ながら各自の課題を振り返る				
15回	自由曲を歌ってもらい、声の状態を総合的にチェックアップ				全体のまとめ				